

一般公開シンポジウム

「ネットゼロシナリオの実現可能性を考える」

2015年のパリ協定採択以降、2℃目標や1.5℃目標の達成に向けた取り組みが国際的に進められおり、温室効果ガス排出量を正味でゼロにする（ネットゼロ）目標を掲げた国や企業も多数現れています。他方、2022年に公開された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書（AR6）第3作業部会報告書（WG3）では、「2010～19年の温室効果ガス排出量の年平均値は人類史上最高となっており、現在、温暖化を1.5℃に抑制する経路上になく、全ての部門・地域において早期に野心的な削減を実施しないと1.5℃を達成することはできない」とまとめられています。公開シンポジウムでは、「ネットゼロシナリオの実現可能性を考える」と題して、1.5℃目標を達成する温室効果ガス排出経路（ネットゼロシナリオ）の実現可能性について議論します。

開会挨拶：風間聡 氏（土木学会・地球環境委員会・委員長 東北大学）

基調講演：横木裕宗 氏（茨城大学）

「顕在化する気候変動の影響と適応策～沿岸域を中心として～」

講演：藤森真一郎 氏（京都大学）

「気候変動緩和研究の最前線～ネットゼロの実現可能性を考える～」

講演：大城賢 氏（京都大学）

「ネットゼロを達成するエネルギーシステムの定量評価」

講演：朝山慎一郎 氏（国立環境研究所）

「ネットゼロシナリオの公衆認知～実現可能性と望ましさの観点から～」

パネルディスカッション

モデレーター：長谷川知子 氏（立命館大学）

パネラー：講演者、島田幸司 氏（立命館大学）、越智雄輝 氏（株式会社E-konzal）

閉会挨拶：風間聡 氏（土木学会・地球環境委員会・委員長 東北大学）

開催日：9月20日（水）14:00～17:00

開催方法・参加費：ハイブリッド・無料

場所：滋賀県立大学 交流センター1階ホール

対面でのご参加の方につきましては、事前申込み不要です。直接会場へお越しください。

オンラインでのご参加の方につきましては、Zoomから事前にお申し込みください。

(https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_hce_CrujQ1K09csvoVroRw)

本シンポジウムは、環境省・(独)環境再生保全機構「環境研究総合推進費」（【1-2101】世界全域を対象とした技術・経済・社会的な実現可能性を考慮した脱炭素社会への道筋に関する研究）によって実施されます。



事前申し込みフォーム